

# 広報 なぎじん

No. 109

1984年12月

村章

(毎月1日発行)

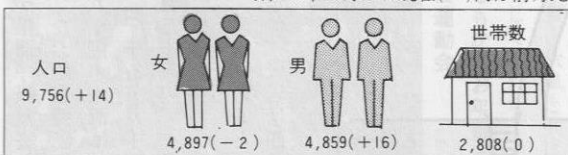


### ▲緑のある遊び場—今泊のアサギン小(クワ—)

公園や遊び場は、私達の暮らしに欠かすことはできない。しかし都市部の公園整備に比べ、農村部では幾分遅れぎみなのが現状。それでも村内どの字でもムラヤー(公民館)のそばには必ず広場があり、字民の憩いの場になっている。

その中でも今泊の遊び場はこばていしの大木がそびえ、見事な緑陰を成している。幾世紀を経た自然の恩恵を受けられる現世の我々は幸せといえるだろう。なお遊具やフェンスは社会福祉協議会の補助事業で設置された。

今帰仁村の人口 昭和59年10月30日現在( )内は前月比



今月の主な内容

- 二 福祉の向上と人口流出の歯止めに  
村営住宅建築始まる
- 三 天底と湧川に合わせて九棟(十八戸)  
秋たけなわ
- 四 色々なスポーツ行事がありました  
天底が大会二連勝
- 五 第18回青年駅伝大会  
子ども会の状況について  
大人になっても役立つ経験  
シリーズ2
- 六・七 村民コーナー私の一言  
きれいな川にしようみんなの協力で  
字平敷八八 大城 千栄  
そりり川節について  
字兼次四七 玉城 鎮夫  
八・九 今年はこちらでござる  
good bye '84  
写真で見る村の10大ニュース  
十 宇運天と与那嶺功氏表彰される  
国民年金の発展に貢献
- 十一 核戦争より先に来たノゴミ戦争  
考えて、みんなでなくそう。むだなごみ

# 福祉の向上と人口流出の歯止め

## 村営住宅建築始まる

### 天底と湧川に合わせて九棟(十八戸)



建設の運びとなった村営住宅(写真)村営住宅湧川団地

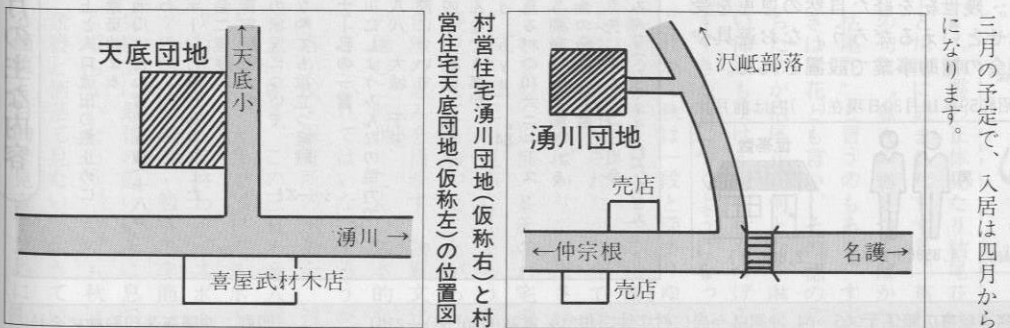
村民期待の村営住宅が、いよいよ建設のはじまりとなりました。村には公営住宅がなく、住宅に要する土地の取得も困難なところから、建設は多くの村民から強く要望されていたところから、そのために、せっかく村に居住を希望しながら近隣市町に出でいく人も多く、人口流出の一要因にもなっていました。

村営住宅建設の基本的な考えは、住宅難の解消と合わせて、困窮世帯の福祉の向上に役立てようということ。またそのことが人口流出を防ぎ、明るく住みよい村を創る原動力になるものと思われま。さらに、人口と各学校の生徒数のバランスを図るため、校区毎に建設すること等が考慮されています。

建設は、天底地内に六棟(十二世帯)、湧川地内に三棟(六世帯)で、すでに用地取得、造成工事を終え、建築工事が始まっています。

次に工事の概要について紹介いたします(場所は案内図をご覧ください)。

まず村営住宅天底団地(仮称は、天底七二二二番地で、敷地面積は、三、五二四平方。用地取得費は一千八十四万八千円。建設の概要は二二九・一平方メートル×六棟となっています。造成費は三百二十万円、建築工費は八千七百五十万円、設備工費は一千五百四十五万円、設計監理費は二百万円、合計一億八千五百五十万円。工事請負は、造成が(仰)北山建設。建築工事が(仰)孝夫組、田港組、島政建設。設備工事が渡慶次電気、山川電気、(仰)金良電化センター。設計監理は(仰)国吉設計となっています。



測量設計が松浦一級建築となつています。なお総工費二億六千三百三十八万八千円の内訳は、国庫補助一億二千五百八十八万八千円、起債七千三百二十万円、一般財源一千二百九十八万円。完成は、湧川・天底とも来年三月の予定で、入居は四月からになります。

# 秋たけなわ

## 色々なスポーツ

### 行事が

### ありました



## 第11回老人婦人スポーツ大会

### 年齢別リレーに大歓声

#### 思う存分楽しみました

体力の向上と世代間の交流をはかるとともに、住みよい村を築くことを目的とした「第11回村老人婦人スポーツ大会」が、十一月三日午前八時三十分から村営グラウンドで行われた。

大会は、村老人クラブ連合会(湧川善雄会長、会員二、二〇〇人)と村婦人会(上地文子会長、会員六〇〇人)が主催し、年一

回実施している恒例の行事。今年も約三千人が参加。観衆と競技者が一体となり、にぎわいをみせた。

入場行進に続き、開会式では諸喜田幸福さんと嘉陽るり子さんが力強く選手宣誓。その後競技に移り、老人クラブの玉入れを始め、ゆうぎ、スプリンレー、ス、けつ圧測定、三代リレーな



ど二十一種目に懸命なプレーを展開した。

## 古里離れてもシママンチュ同士

### 北山郷友会運動会で親睦

那覇近郊の村出身者で構成する北山郷友会(名嘉真武美会長)の「第七回大運動会」が、十一月四日午前十時から奥武山陸上競技場サブグラウンドで行われた。

北山郷友会は、昭和初期に今帰仁村出身者の会として発足。昭和三十六年には北山郷友会と改称した。以来組織の強化と充実が図られ、会員も七千人を超える大所帯となっている。

運動会は、会員が一堂に会し、スポーツを楽しむことによって健康で幸せな家庭生活を培おうというもので、約二千人の会員

が参加。村からも三役を始め課長、議員、区長が出席し、会員との親睦を深めた。

前夜からの雨でグラウンドはぬかるんだが、会員の気勢で晴天を呼び、二十三種目にわたり熱戦がくり広げられた。各種目とも出身字対抗とあつて、応援も加熱さ。真剣なプレーも時にはズッコけ、観衆の爆笑をさそっていた。

その結果、優勝は兼次諸志チーム、二位は古宇利チーム、三位は湧川チームの順位で優勝旗、トロフィー、賞状が贈



写真)子どもからお年寄まで融和を深めた運動会

その中でも特に人気を集めたのが、ゲートボールリレーと年齢別リレー。年齢別リレーは、二十代から六十代までの婦人と七十代の男性が一グループとなり競われたもので、最後の競技とあつて場内の大歓声を集めていた。また、小中学生の学年リレー、職域リレーもあり大会に花を添えていた。

写真上)グラウンド一ぱいくり広げられた踊り。写真下)婦人会・老人クラブ合同のリレーゲーム。

# 天底が大会2連勝 第18回青年駅伝大会

村青年会（吉田清尊会長）主催の「第18回青年駅伝大会」が、十一月十一日午後二時から行われ、天底チームが昨年に続き優勝を飾った。

青年駅伝大会は、融和と親睦をはかりあわせて組織の発展に寄与しようというもの。今年は兼次中学校、OBを含め九チームが出場し、日頃鍛えた自慢の健脚を競った。

コースは、役場前から湧川折り返し、そして具志堅折り返し、役場前ゴールの八区間三一・九キロメートル。その結果、スタートから終始トップを続けた天底チームが安定したレースを展開し、一時間五十七分十九秒で優勝した。二位は健闘した謝名越地、三位には湧川チームが入った。

またオブザーバー参加した兼次中学校が記録的には3位、OBが4位でそれぞれゴールした。



一位でテープを切る  
天底のアンカー横井選手

順位	チーム名	記録
1	天底	1時間57分19秒
2	謝名	1 " 59 " 40 "
3	湧川	2 " 09 " 47 "
4	兼次	2 " 18 " 15 "
5	兼次	2 " 21 " 48 "
6	兼次	2 " 22 " 36 "
7	兼次	2 " 29 " 34 "
	兼次	2 " 06 " 00 "
	兼次	2 " 08 " 35 "

区間	氏名	チーム名	記録
1 (5 km)	西平 守隆	天底	16分06秒
2 (4.3 km)	新城 正治	"	15 " 36 "
3 (4 km)	玉嶺 政隆	"	15 " 08 "
4 (4.6 km)	嶺井 利夫	謝名	16 " 02 "
5 (4 km)	松本 清彦	越川	14 " 33 "
6 (3 km)	大嶺 政也	天底	11 " 21 "
7 (3 km)	嶺井 政隆	天底	10 " 51 "
8 (4 km)	玉城 政隆	越川	15 " 19 "

## 北糖七連覇を達成 各ソフトボール 珍プレーも随所に

第八回村内各団体ソフトボール大会で、今年も北糖チームが優勝し、七連覇に輝いた。

十一月十一日村営グラウンドで行われた大会には、商工会、役場課長会、糖友社、北糖、教育委員会、議会、区長会、たばこ耕作組合、選管、農協、農業委員会の十一チームが出場。打倒北糖ノを目標に各チームとも健闘したが、一・二・三回

戦を勝ち抜き決勝に進んだのは予想どおり（？）北糖と議会。決勝戦も七対〇と北糖が危げなく勝ち、王者の貫禄をみせた。議会も奮闘したが、今年も二位に甘んじた。三位は決定戦で区長会を破った商工会。なお役場課長会は、毎年一回戦敗退という不名誉な記録を今年も更新した。写真は北糖・議会の決勝戦。終了後は役場ホールで懇親会。



大会の大きな目的は親睦会とあって、大いに飲み食い、そこでは各チームとも優勝したような雰囲気だった。

### 国頭郡陸上で村チーム健闘 男・女・総合とも準優勝

- なお村選手団の三位までの入賞は次のとおり。
- 男子の部**
- 〇二〇km、二位||上間直樹(1時間12分35秒)三位||上間哲男(1時間15分40秒)
  - 〇百M、三位||大嶺敦(11秒5)
  - 〇40代百M、一位||諸喜田信夫
  - 〇四百MH、一位||島袋幸輝(1分01秒2)
  - 〇二百M、三位||山城透(24秒5)
  - 〇四百MR、二位||46秒3
  - 〇五千M、二位||西平守隆(16分34秒1)
  - 〇千六百MR、二位
  - 〇二百M、三位||祖堅美和子(30秒3)
  - 〇八百M、一位||比嘉昭子(2分33秒7)
  - 〇四百M、一位||祖堅美和子(1分04秒9)
  - 〇四百MR、一位||54秒8
- 女子の部**
- 〇百M、一位||与那嶺理世(14秒3)
  - 〇四百M、二位||与那嶺誠(57秒)
  - 〇走巾跳、二位||大嶺敦(6M54)
  - 〇50代砲丸投、一位||西平守武(10M92)
  - 〇ヤリ投、二位||与那嶺誠(57M44)
  - 〇40代円盤投、二位||西平守輝(27M76)

## 子ども会の状況について

### 大人になっても役立つ経験

#### 1 子ども会とは

〇地域を単位とした子どもたちの集団であり、地域社会の人々の協力により組織的に育成されたもの

〇子どもたち自らが、楽しい集団生活を通じて心身をきたえ、社会生活を営むための基本的態度や技術を身につけることを目的とした組織的・継続的少年団体

〇地域を単位とした子どもたちの集団であり、地域社会の人々の協力により組織的に育成されたもの

〇子どもたち自らが、楽しい集団生活を通じて心身をきたえ、社会生活を営むための基本的態度や技術を身につけることを目的とした組織的・継続的少年団体

#### 2 子ども会のねらい

子ども会では、遊びを中心とした活動やいろいろな行事を通して、みんなが協力してやってみることがどんなに大切なことか学びます。学校とちがって、学年も年齢もちがう人同志の集

りです。心や体をきたえることにもなります。また、そのような活動を通して、発表力や指導力を自然に身につけることもできます。こうして友達がたくさんたものになり、豊かな明るい生活がおくれます。

このことは、子ども会の大きなねらいのひとつです。お互いに協力しながらレクリエーションやスポーツなどの活動に進んで参加して、その中で楽しみながらいろいろな知識を身につけて

このように少年時代に得た経験は、大人になっても大いに役立つものになります。誰れとも仲良く協力してやっていると、誰れもが願っていることです。日々の活動のねらいをしっかりとふまえて、自信をもって子ども会活動を進めていきましょう。

#### 昭和59年度 今帰仁村子連事業計画

月	事業	日	時	場所
4	村連役員会 各字子ども会正副会長会	20日(金)18:00 28日(土)15:00		中央公民館
5	村子連理事会 村子連総会 各字育成者懇談会	7日(月)18:00 18日(金)18:00 25日~6/13日 (20:00)		各字公民館
6	各字子ども会 リーダー研修会	2日(土)15:00		中央公民館
8	九州地区JL研修会 2名参加 第10回山口県青少年一万人キャンプにJL10名招待参加 村子子ども会リーダー宿泊研修会 山口県少年の船との交歓会 村子子ども会ジュニア部結成	2日~4日 5日~13日 9日(木)~10日(金) 13日(月)8:30~11:00 28日		福岡県 山口県 名護青年の家 今帰仁小学校 コミュニティセンター
9	村子子ども会連絡会	8日(土)15:00		中央公民館
12	ハイキング	2日(日)		村内
3	第3回子ども会発表会	31日(日)		コミュニティセンター

\*村子連の主催する事業だけあげました。

地域文化の創造を

### 第2回 今帰仁文化祭

12月8日・9日  
コミュニティセンター  
中央公民館

村青年団協議会主催による「第2回今帰仁文化祭」が、十二月八日(土)九日(日)の両日、村コミュニティセンター、中央公民館で開催されます。

今帰仁文化祭は、地域に根ざした文化活動を広げる目的で、昨年開催されているもの。部門は、油絵、水彩画等版画、水墨画、ちぎり絵、彫刻、書道、写真、絵本、陶芸、染織、民芸、その他となっております。たぐいま作品の募集を行っています。村在住者なら誰れでも応募できますので、希望者は十二月五日午後七時までにコミュニティセンターまでお持ちください。

なお問い合わせは、役場経済課の吉田清尊さんか建設課の小那覇安隆さん(五六二二五六、二二五五)へどうぞ。



はじめに

私達は川の自然環境を忘れ、川を軽視し、汚れたもの、不要物等ありとあらゆる物を投棄し無意識のうちに河川を汚してしましました。昔は都市農村を問わず川は透き通り、魚、カワエビ、ウナギ、カニ等が豊富でした。童謡にも歌われ、幼い頃の夢を誘った懐かしい川は少くなり、悪臭を放つ汚れた川が増えてきました。しかし人々の中には、豊かな生活環境を創造し、昔の川を取り戻そうとの気運が高まり、「〇〇川を蘇生させる会」「〇〇川を守る会」等が組織されて団体が活動しています。国・県でも、水質汚濁防止月

きれいな川にしよう みんなの協力で

字平敷八八番地 大城千栄

間を設けて、七月一日から三十日まで「守ろう とり戻そう きれいな川 美しい海」をスロ

聞かされ啞然となりました。つきましては、化学的データに基き概況を申し上げ、きれいな川になるよう祈りつつ筆を執りました。

川の検査方法と汚染の状況

河川の子備調査で概況をつかみ、大井川の6地点を設定し、できるだけ干潮時に採水を行い検査した結果、大井川は都市河川なみに汚れているようです。汚染の主な原因は、人口集中による家庭排水、事業場排水、それに赤土の影響となっていて、河川による自浄能力では絶対き

れいにならないところまで来ています。ジニンサ川は、上流に一般廃棄物処理場があるので、これ以上汚染されないように油断は禁物と思われれます。(名護保健所の検査結果は下段表参照)

次に検査項目に耳なれない用語がありますので、簡単に説明しますと、(1)BOD(生物化学的酸素要給量) 汚物は水中で有益な細菌により酸化され、硝酸亜鉛、炭酸ガス窒素、炭素等に分解されるが、このために細菌が必要とする酸素の量をいう。数値は大きいほど水質汚濁が著しい。

(2)SS浮遊物質量 水中に浮遊する物質の量を言い、一定量の水をろ紙でこし、乾燥してその重量を測ることで測定されている。数値が大きいほど水質汚濁が著しい。清浄河川でも自然汚濁25ppm程度である。大井川を蘇生させる今後の対

名護保健所管内河川水質検査表

Table with columns for inspection area (検査区分), BOD, S.S, and transparency (透視度). Rows include '名護保健所管内' and '今帰仁村'.

備考 1. BOD名護保健所管内 163地点平均8.91PPMに対し、本村12.26PPMで最高51.5PPMである(6PPM以下が望ましい)極めて汚濁名護17.5%、本部町12.5%、今帰仁20%、大宜味6.7%、国頭3.3%、東村20%、平均で13.5%。 2. S.S名護保健所管内 156地点平均 10.97PPM、本村42.2PPM、最高60.4PPM(25PPM以下が望ましい)SS真謝川36.5、福地川30.5、陸川31.0、屋部川48.6、大井川60.4、大保川51.6(汚染のたかい川)。 3. 検査項目は上記の外、気温、水温、DO、PHもされています。

(内)事業場及び畜舎排水の適正処理を強化する。畜舎汚水は直接川に流さない。事業場排水は、保健所の指導を受けて処理したものである。(外)土地改良の際の赤土流出防止を考える。(ト)河川は努めて浚渫を実施させる。

むすび

名護保健所では、昭和四十九年から河川の検査を実施しているようですが、都会の河川は下水道の普及により以前よりは回復に向っているとのことです。本土でも人口の多い市町村では、下水道整備で毎年河川が蘇生されつつあるが、人口の少ない地域で悪化し、建設省は今後下水道整備の重点を大都市から町村へ切り替えていく方針といっています。

本村は文化材として、北山城跡、運天森(展望台)、仲原馬場、それに乙羽岳生活環境保全林整理事業が完成し、森林浴や自然観察景観も楽しめる自然等に恵まれた景勝地と脚光を浴びている。県内優秀の松並木があり、緑豊かな本村で、河川だけが汚染されているという事は、他市町村からもよい感じは持てないと思われれますので、村の名誉にかけて是非村民の協力で清流になるよう意識を高めたいものと

このコーナーは、村民の皆さんの日頃感じている意見発表の場です。村政に対する要望や家庭のこと、将来の希望など何でも結構です。村役場総務課秘書広報係までお寄せ下さい。なお、ご意見は四百字詰原稿用紙二枚程度で、住所、氏名、職業を添えて下さい。※あて先 今帰仁村字仲宗根二一九村役場総務課秘書広報係 (TEL五六一二〇一)

そーり川節について

字兼次四七 玉城鎮夫



この歌は、我が村内の先人が作詩作曲された歌だと伝えられている。しかしこの歌の作詩や作曲者と、その時代がはっきりしていない。昔は若い男女の毛遊びの場や、御祝の場合の終り頃になると、宮古根やこの歌をよく歌っていたとのことである。これを歌った人々は、針突時代の人々ではないかと推察されるのである。その一つの理由は、昔の各邑々の当時の資産家、権力者の家庭と、川や田圃、港の野鳥と家庭の娘とが組み入れていることである。前後者から推して考えて見ると、どうしてもこの歌は百年前後か或いはもっと古いかも知れないのである。今頃この歌を完全に歌える人が村内に健在していないような気がするのである。ひよっとす

この歌は我々の先人の作詩作曲であるとの云い伝えがあるから、これは村の無形文化財の価値も充分にあると思うからである。この歌もこのままに放っておくと、すぐに死歌として消滅してしまいうのである。幸いにして本土等にもこの歌を歌える人が居られると、この上もない事であると思う。この歌は、東の玉城から西の各邑々に進行しているが、この歌に全く類似している歌が今泊にある。しかし二つの相違点は、西から東へと各邑々を進行して仲宗根の大井川と岸本三ヶで終る「シバンテナ鳥」がある。 [兼次] 田切り川ぬ鳥よ 情切り鳥 兼次大屋ぬ 女童よう無蔵よ [玉城] ソウリ川ぬ鳥よ 情切り鳥 岸本ソージぬ 女童よう無蔵よ [謝名] シカぬ鳥や鳥よ 情切り鳥 前古利屋ぬ 女童よう無蔵よ [平敷] 平敷川ぬ鳥よ 情切り鳥 門口大屋ぬ 女童よう無蔵よ [崎山] ティンマクぬ鳥よ 情切り鳥 旦那屋ぬ 女童よう無蔵よ [与那嶺] 狭間小堀ぬ鳥よ 情切り鳥 仲村屋ぬ 女童よう無蔵よ [諸志] ヒンルフぬ鳥よ 情切り鳥 諸喜田御殿ぬ 女童よう無蔵よ

### 1984年 今帰仁村のあゆみ

- 1月2日 第6回新春マラソン大会
- 4日 新年の集い
- 6日 でぞめ式
- 15日 成人式
- ” 農協青年部駅伝大会
- 21日 第7回県民コンサート
- 26日 県畜産試験場落成式  
内間敏助役自治功労表彰
  
- 2月1日 第8古宇利丸運航開始
- 4日 文化講演会
- 19日 第3回庭球選手権大会
- 24日 今帰仁派出所落成式
  
- 3月12日 仲宗根政善氏日本学士院賞恩賜賞受賞
- 16日 村明るい選手推進協議会表彰される
  
- 4月10日 乙羽岳生還林引渡式
- 15日 第3回村ソフトボール大会(22日)
  
- 5月10日 村商工会青年部総会
- 13日 第18回職域野球大会(26日)
- 20日 ホッケー中学生大会
- 21日 村青年会定期総会
- 23日 村商工会通常総会
- 27日 湧川青少年育成会設立
- 26日 村婦人会定期大会
  
- 6月3日 海神祭
- 10日 県議会議員選挙投票日
- 17日 少女バスケット大会
- ” 村職域バレー大会
- 19日 村老人クラブ大会
- 23日 村農協通常総会
  
- 7月1日 村球格技大会
- 6日 平和祈願祭
- 8日 村PTAバレー大会
- 17日 村健康づくり推進協議会設立
- 22日 第2回壮年ソフトボール大会(9月2日)
- 25日 村コミュニティセンター落成式
  
- 8月5日 村長選挙投票日
- 6日 開票の結果松田幸福氏5期連続当選
- 10日 第19代村長松田幸福氏に当選証書交付
- 20日 当山克也選手(沖水)カヌーで日本一
- 25日 第5回村まつり(26日)
  
- 9月4日 農業委員無投票当選
- 14日 今帰仁城跡出土遺物展
- 14日 村畜産共進会
- 15日 敬老会
- 19日 住民検診(10月5日まで)
- 16日 アルゼンチン今帰仁村人会創立50周年記念式典
  
- 10月10日 第39回村陸上競技大会
- 12日 北部地区畜産共進会
- 20日 国体実行委員会発足
  
- 11月3日 第11回老人婦人スポーツ大会
- 4日 北山郷友会第7回運動会
- 11日 第8回各団体ソフトボール大会
- 12日 劇団はぐるま座公演

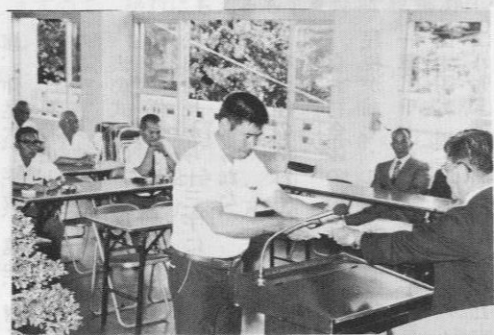
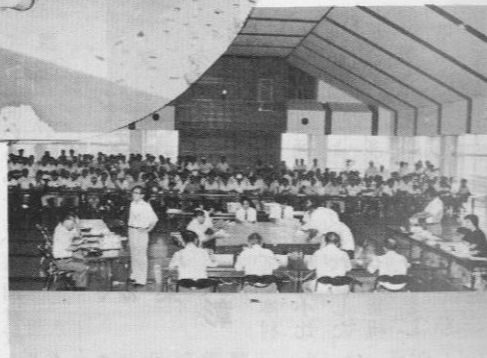


⑥ 運天出身の当山克也選手(沖水)カヌーカヤックで日本一に(八月二十日)、写真左から二人目が克也選手



⑦ 第五回今帰仁村まつり開催(八月二十五日)

⑧ 村長選挙執行写真=開票風景(8月5日)



⑨ 19人の農業委員さまる



⑩ アルゼンチン今帰仁村人会設立50周年(9月16日)

## 今年は

# こんなでき事が

good bye '84

## 写真で見る村の10大ニュース

① 県畜産試験場落成式(1月26日)



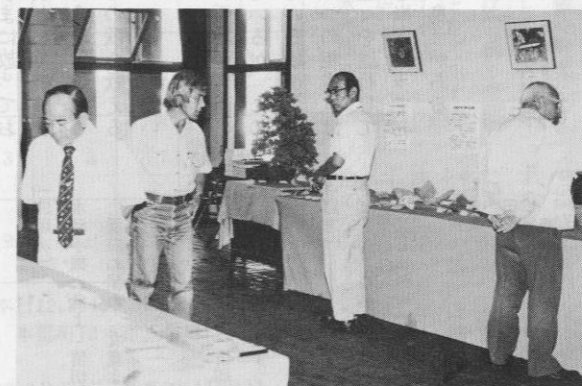
② 乙羽岳生還林完成(4月10日)



③ 村コミュニティセンター落成式(7月25日)



⑤ 村出身の仲宗根政善氏、沖縄で初の日本学士院賞恩賜賞に輝く(3月12日)



④ 今帰仁城跡出土遺物展(9月14日)

今年も色々なでき事がありました。良き事、悪き事、様々な思い出を残し、今年も余ますところ後一月足らず……………。

今月号では、一年を振り返り「写真で見る今年の村内10大ニュース」を特集しました。あなたの十大ニュースとあわせてご覧ください。

# 字運天と与那嶺功氏表彰される 国民年金の発展に貢献



県知事表彰を受けた  
与那嶺功さん

本県の年金事業の一層の発展を期すため、十一月二十九日沖繩市において「国民年金法施行二十五周年記念大会」(沖繩県・市町村・県国民年金推進協議会

主催)が開催されました。席上、優良市町村等の表彰が行われ、優良民間地区組織として字運天(運天政徹区長)が厚生大臣表彰、優良市町村協力者として役場元国民年金係の与那嶺功さん(現住民課勤務)が県知事表彰を受けました。字運天の表彰は、徴収事務並びにすぐれた活動により年金事業に貢献したというものです。また与那嶺

さんは、長年国民年金業務にたずさわり、村や県の国民年金の健全な運営と発展に寄与したというものです。  
書道コンクールに入選  
また十一月の「国民年金制度推進月間」にあたり、書道コン

クールが実施され、村から次の児童が入選しています。  
☆沖繩県生活福祉部長賞  
特選―我那覇秀樹(今小六年)  
佳作―大城逸子、山城真由美、我那覇裕子(以上今小六年)

## 納税優良の13カ字を表彰

昭和五十八年度分の納税表彰が、十一月五日午後四時から村役場ホールで行われた。これは税金納付に優秀な成績を上げた字を表彰し、さらに税に対する

理解を深めようというものである。今回表彰されたのは、百%完納の兼次、崎山、上運天、運天を始め、九五%以上を達成した与那嶺、仲尾次、平敷、越地、謝名、玉城、吳我山、勢理客、渡喜仁の十三字。

表彰式には、各区長、議員、役場関係者など約六十人が出席。松田村長から十三字に表彰状と金一封が贈られた。

固く禁じられています。調査員がお伺いした際には、ありのままお答えくださいませうお願いいたします。センサスについてのお問い合わせは、企画財政課(五六―二二〇一)へ。

村全体の納付率は九七・四%。なお村全体の納付率は、村民税が九七・九七%(調定額一億二千七百三十一万八千二百三十円)、固定資産税が九六・二八%(調定額一億六千五百五十二万九千五百七十円)、軽自動車税が九七・五八%(調定額一億六千二百二十万二千円)で、三税の合計納付率は九七・四〇%(調定額一億九千四百四十七万円)である。

「人権の共存―互いに相手の立場を考えて豊かな人間関係をつくらう」を重点目標に、第三十六回人権週間が十二月四日から十日まで行われます。主催は法務省並びに全国人権擁護委員連合会。週間は、世界人権宣言の採択三十六周年にあたり、広く国民に人権意識の高揚を図ろうというものです。

## 明日の農業をつくる農業センサス 農家の皆様の協力

農林水産省では、十二月一日現在ですべての農家を対象として、農業センサスを実施いたします。昭和二十五年以来五年ごとに実施しているこの調査は、我が国の農家戸数、耕地面積、農業の現状を明らかにし、各種農業振興施策を推進するための基礎資料を提供してきました。

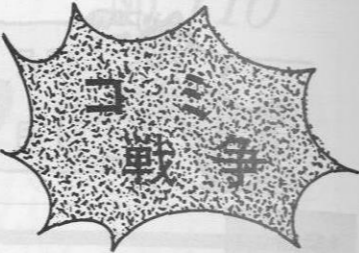
農業は、国民生活にとって欠かせず、国民生活にとって欠かせない食料を供給することにも、国土や自然環境の保全という面でも大きな役割を果たしています。しかしながら、農産物需給問題等解決しな

ます。この趣旨を十分御理解いただき、御協力くださいませうお願い申し上げます。なお調査した事項は、統計を作成するためだけに使われるもので、その他の目的、例えば個人の課税等に使うことは法律で

禁止されています。調査員がお伺いした際には、ありのままお答えくださいませうお願いいたします。センサスについてのお問い合わせは、企画財政課(五六―二二〇一)へ。

村全体の納付率は九七・四%。なお村全体の納付率は、村民税が九七・九七%(調定額一億二千七百三十一万八千二百三十円)、固定資産税が九六・二八%(調定額一億六千五百五十二万九千五百七十円)、軽自動車税が九七・五八%(調定額一億六千二百二十万二千円)で、三税の合計納付率は九七・四〇%(調定額一億九千四百四十七万円)である。

## 核戦争より 先に来た!



## 考えて・みんなでなくそう・むだなごみ

- ……私たちの村では、本部町との間に清掃組合を設立し、家庭や地域から出されるごみを、燃物・不燃物に分け処理しています。
- ……ところが、水切りが充分なされていない燃物の余分な処理時間、不燃物物が焼却炉に持ち込まれた時の無駄な労力、機械の故障、さらに不燃物処理場に燃える物が持ち込まれた為起こる山火事、ビニールが燃えた時の化学公害等々……あなたのご存じでしょうか。
- ……これはすべて、分別収集が行われていない為起こる現象です。
- ……明るくきれいな村づくりに、また税金を余分なものに使わないよう、
- ……ゴミの出し方を皆んなで考えていきたいものです。

## なぜ分別収集が必要なのでしょう

- 1) ごみを混合し、収集処理すると
    - ①焼却炉内で、「ばくはつがおこる」
    - ②ごみがおもえにくく、そのためそのごみをもやすために大量の重油と電気が、使用される。
    - ③各機械の摩耗が、はやくなる。
 以上のような故障がおこり多額の修理費が、必要となります。
  - 2) 本村にあります不燃物捨て場へ、もえるごみが運びこまれて、そこで捨てられたごみに火をつける者がおり、山火事になる危険が非常に大きい。
- 上記のような理由により分別収集は、是非しなければなりません。

## 守ってますか、正しいゴミの出し方

もえるごみ	もえないごみ	そ 大 ご み
<ul style="list-style-type: none"> <li>●台所から出るごみ……水をよく切り小さい袋か紙につんでごみ袋に入れて下さい。</li> <li>●紙類……古紙雑誌新聞紙類は、ひもでくくって出して下さい。</li> <li>●ダンボール類……つぶして、小さくたばねて出して下さい。</li> <li>●木ざね、竹ざね等……50cm程度に切ってたばねてだして下さい。</li> <li>●せんい類、皮革類……ちゃんとたばねて出して下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●あきかん、あきビン、ガラス類などの危険物。</li> <li>●プラスチック、ビニール類……(金物と分けて、出して下さい。)ポリ容器、発泡スチロール、プラスチック類は、焼却炉をいためるばかりでなく有毒ガスが発生しますので、絶対にもえるものと一諸にしないで下さい。</li> <li>●スプレー類……かならず穴をあけて出して下さい。</li> <li>●ガラス類……割れているものは、必ず包装して、車に積みこむときに、ケガをしないようちゃんとした袋に入れて下さい。</li> </ul>	<p>そ大ごみとは……一般家庭から出る不要になった大型ごみの事です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭電化製品……テレビ、ラジオ、ステレオ、冷蔵庫など。</li> <li>●家具類……机、いす、タンス、ベッド、たたみ。</li> <li>●台所設備類……流し台、石油コンロ、ガスコンロ。</li> </ul> <p>上記のもので</p> <p>※ 机、いす、タンス、たたみなどは、小さくつぶし、焼却場へはこんで下さい。ほかのものについては、直接今帰仁村にある不燃物捨て場へ自ら運んで下さい。</p>
ごみを出す日	ごみを出す日	
役場の収集指定日	役場の収集指定日	

## 昭和59年11月5日献血状況

献血協力団体名	献血者数
今帰仁村商工会	24
今帰仁村役場	42
今帰仁村農業協同組合	9
今帰仁村製糖今帰仁事業所	2
北部製糖今帰仁試験場	13
沖繩県畜産試験場	5
琉球銀行今帰仁支店	5
共立学校共済沖繩保養所	5
区議会議員	6
議会議員	4
糖友社	4
沖繩光武病院	3
今帰仁郵便局	3
北山高校生徒	3
一般住民	7
合 計	129名



### 村と商工会青年部が 愛の献血 キャンペーン

従来、献血については皆様の協力をいただき感謝します。去る十一月五日には「愛の献血」万人キャンペーン(村・商工会青年部共催)が行われ、二十九人が献血しました。ご協力ありがとうございました。



12月1日  
1月1日

# 村民カレンダー



12/1 土	
2 日	
3 月	○村老ク・高齢者学級ナークニー大会 (13:00、中央公民館) ○三歳児健診(13:00~14:00、役場ホール)
4 火	
5 水	○定例区長会 (14:00、役場会議室) ○心配ごと相談(13:00、コミュニティセンター) ○村公連役員会 (15:00、中央公民館)
6 木	○沖公連研究大会 (豊見城) ○肉用牛セリ市 (12:00、家畜セリ市場) ○体育指導員会 (18:00、中央公民館)
7 金	○第9回沖縄県視聴覚研究大会 (東風平町)
8 土	○第2回今帰仁文化祭 (コミュニティセンター中央公民館、9日まで) ○壮年婦人バレーボール大会
9 日	○第3回壮年ソフトボール大会 (9:00、村営グラウンド) ○県中体連駅伝大会 (那覇)
10 月	○子豚セリ市 (13:00、家畜セリ市場) ○特設人権相談(10:00、コミュニティセンター) ○今帰仁小家庭教育学級閉講式(14:00、中央公民館)
11 火	
12 水	○心配ごと相談(13:00、コミュニティセンター) ○社会教育委員会 (14:00、中央公民館)
13 木	○中央婦人学級 (14:00、中央公民館)
14 金	○高齢者教室閉講式 (14:00、中央公民館)
15 土	○地区PTA研究大会 (伊江村)
16 日	○第3回壮年ソフトボール大会 (準決勝、決勝、10:00、村営グラウンド)

17 月	○天底小家庭学級閉講式 (14:00、天底小)
18 火	
19 水	○心配ごと相談(13:00、コミュニティセンター)
20 木	○定例区長会 (14:00、役場会議室) ○DPT (13:00~14:00、役場ホール) ○湧川小中家庭学級 (14:00、湧川小中)
21 金	○1歳半健診 (13:00~14:00、役場ホール)
22 土	○1歳半健診 (13:00~14:00、役場ホール) ○親子映画劇場 (15:00、中央公民館)
23 日	○年末年始交通安全運動 (~1月6日) ○子ども会ハイキング (9:00)
24 月	○年末年始青少年育成県民運動 (~1月15日)
25 火	○村公連研究会 (14:00、中央公民館)
26 水	○移動心配ごと相談 (13:00、与那嶺) ○子豚セリ市 (13:00、家畜セリ市場) ○兼次小家庭学級閉講式 (14:00、兼次小)
27 木	○公民館講座 (14:00 中央公民館)
28 金	○御用納め
29 土	
30 日	
31 月	
1/1 火	○元旦

■秋のなかつた沖縄でも、この頃は冬の気配を感じます。ミニシが吹くと寒さは一段と本格的に。でも心だけは何時までも温かくしておきたいものです。■六〇〇万円の税金の無駄使い。何の事かお分りですか。これはごみ搬入が徹底されていないため起こる一年間の経費なのです。■以前本土で暮らした時、うっかり粗雑にごみを出した事がありました。その中の手紙から住居が知れ、近くの住民から嚴重(良心的)な注意を受けたものでした。住民が処理を徹底していた一つの例といえるでしょう。■振り返って我が村ではどうでしょうか。清掃組合の話ではまだ意識が低いとのこと。今すぐできる一人ひとりの心がけ。我が家でも、今日から家族ぐるみで、気をつけたいと思います。■師走のあわただしい時期。火災の多くなるシーズンでもあります。出火原因のトップはたばこ。禁煙権の進むこの頃。愛煙家にとっては頭の痛い季節です。

## 編集後記

